

神楽岡通のプラタナス並木 (旭川市)

旭川市



延長 2.8 キロも続く緑のトンネル

沿道の価値を高める並木道

旭川市神楽岡・緑ヶ丘地区を通る神楽岡通には、延長 2.8km にわたってプラタナスの並木が植えられている。我が国でも最大級の規模を誇っており、ゆったりと枝を伸ばしているため、車道の上を覆って緑豊かなトンネルを形成している。

沿道には教会やレストラン、菓子店など、景観に配慮した西洋風の建物が数多く並び、ロマンチック街道の愛称で、地元客だけでなく観光客も訪れる人気のスポットになっている。夜間には各洋館がライトアップされ、街灯も街路樹に配慮して背の低いものが採用されていることから、一層ロマンチックな雰囲気を作り出している。

落枝事故等が起きないように、きめ細やかな維持管理を行うと共に、秋に落ちてくる大量の落ち葉は沿道の市民の協力によって集められており、官民が力を合わせてこの街路樹を維持していることが高く評価される。

概要

名称	神楽岡通のプラタナス並木
所在地	旭川市神楽岡8条1丁目～緑ヶ丘3・4条4丁目
管理者	旭川市
規模	延長約 2.8km、本数 434 本
種別等	市道 神楽岡通線、都市計画道路 神楽岡通
整備年	1972 (昭和 47) 年から2ヶ年で約 500 本を植栽
その他	第1回北海道花と緑のまちづくり賞 (1996)



神楽岡、緑ヶ丘両地区を貫いて並木が続いている



広い植樹帯を確保して、健全な生育を助けている